

令和6年 2月15日

保護者様

アソカ幼稚園長 小林 淳一

令和5年度 アソカ幼稚園 「園評価」結果及び保護者感想報告

寒冷の候、日頃より本園教育にご支援・ご協力をいただきまして、感謝申し上げます。さて、令和5年度園評価・保護者アンケート感想のご提出ありがとうございます。つきましては、結果をご報告させて頂きます。皆様から頂戴した結果や感想を来年度の園の教育に活かしていきたいと思います。

1 対象者内容

対象者	人数	回答数	回答率	実施期間
教職員	23名	23名	100%	令和6年1月11日～ 1月26日
全保護者	園児数105名 (世帯数102名)	67名	66%	令和6年1月15日～ 2月6日

★プレ保育どんぐり組は感想のみ 11人

1 教職員 自己評価

A 十分 B おおむね C ちょっと足りない D できていない E この設問に該当しない

【I 教育目標・教育方針・教育課程・指導計画】

		A%	B%	C%	D%	E%
1	園の保育目標(いのちを大切にする)を意識して子供たちを育てようとしている。	61	35	4	0	0
2	月・日保育計画案は、幼稚園要領、保育の木をもとに作成している。	27	7	0	0	66

【Ⅱ 教育の内容・方法・教育環境】

1	勉強や遊びを通してルールを学んだり、我慢したりといった経験を積めるような工夫をしている。	44	56	0	0	0
2	子どもの発達を考慮し、興味・関心に応じた保育が行われるよう心がけている。	53	47	0	0	0
3	友達や他学年とのふれあいなどを通して、豊かな人間関係を育てようとしている。	61	35	0	0	4
4	一日の生活の基盤となる(手洗い、排泄、あいさつ、片付け、ケツそろえ)の基本的生活習慣を指導・サポートしている。	57	40	3	0	0

【Ⅲ 教師の役割・資質向上】

1	一人ひとりを大切にした教育を心がけている。	66	34	0	0	0
2	保護者に子供の様子を話したり、クラス通信などで知らせたりして連携をとっている。	44	30	13	0	13
3	研修会などに進んで参加したり、自ら学んだりして教師力を高める努力をしている。	40	35	0	8	17

【Ⅳ 運営管理】

1	園児や保護者のことについて園の外で話題にしない。	74	22	4	0	0
2	個人情報等の管理は間違いないように行っている。	74	14	0	0	12
3	他の職員と互いに認め合い、協力して仕事に取り組んでいる。	70	27	3	0	0

2 保護者評価

A 十分 B おおむね C ちょっと足りない D できていない E わからない

		A%	B%	C%	D%	E%
1	「いのちを大切にする」という園の保育方針のもと、保育に取り組んでいると感じる。	78	21	0	0	1
2	一人一人を大切にした保育が行われている。	71	21	4	0	4
3	子どもの発達を考慮し、興味・関心に応じた保育が行われている。	72	24	3	0	1
4	クラスの友達や他学年とのふれあいなどを通して、豊かな人間関係を育てている。	87	13	0	0	0
5	園だよりやクラス通信・ホームページ・連絡アプリなどを通じて、幼稚園の情報を、適切に伝えている。	80	13	7	0	0
6	園内や教室の環境・安全整備や美化に努めている。	83	13	3	0	1
7	幼稚園(教職員)の保護者への対応は適切である。	74	24	2	0	0
8	くじら組利用者のみ記入 安全・安心な預かり保育(クジラ組)が実施されている。	50	18	0	0	32

3 保護者感想★一部抜粋

○年長組

・一泊保育がとても楽しかったようでよく話してくれた。身体の成長はもちろんだが人としての成長が感じられた1年だった。大きさになるが「どう生きていくかは本人にしか決めることは出来ない。」と思うことが多くあった。日曜日に明日は幼稚園だと言うと「やったー」と言うくらい幼稚園が好きなようだ。朝早くから夕方まで沢山の先生たちに遊んでもらい友達ともたくさん遊んで毎日楽しいようだ。

・毎日の幼稚園を楽しみにしていて土曜くじらも行きたがっている程だ。印象に残っている行事は劇遊び発表会だ。大人でも難しい長いセリフを覚えて演技している姿を見て家では分からなかつた子どもの成長を感じた。また、他の子と一緒に演技をしているのを見て、日々のクラスの友達のなかで成長していることを改めて感じた。また、一人っ子なのでくじら組のなかで年上の友達や年下の友達との接し方を学べてとてもプラスになっていると思っている。もうすぐ卒園することをこどもも寂しがっているが、小学生になることを楽しみにもしているようだ。遊びでなく勉強が中心となる小学校でギャップを感じないか不安ではあるが幼稚園同様毎日楽しく通えるようにバックアップしていきたい。

・担任の先生のお陰で素敵な1年間を過ごすことができた。恥ずかしがり屋で自分の意見を伝えるのが苦手だったり友達との距離感だったりで、悩んでいた娘が得意なことを担任が沢山伸ばしてくれたお陰で友達にダンスを積極的に教えたこと、皆でアイドルになって娘が立ち位置を考えたこと、担任がしてくれたんだってと、楽しい話を沢山聞くことが出来た。園では真面目でいなくてはと気を張っていた娘が写真ではふざけたポーズをしたり、おちゃらけたり、普段の娘が園でも出るようになって本当に母としては嬉しかった。担任は一人ひとりに向き合ってくれてその子の良さを沢山引き出してくれる素敵なお先生だなと思った。年長でこんなにたくさんの素敵なお思い出を作れたことは、娘にとってはこれからも大切な思い出になると思う。先生たちのお陰で楽しい園生活を過ごせたと思う。

・年長の1年はとても濃いもので一番成長を感じた。動物探検隊では生き物の大切さを学び、あまり動物に興味がなかったのだが経験したことを楽しく沢山話してくれた。また、「魔笛」では年中さんとは違いセリフがとにかく多いと感じたが、しっかり練習したことでも間違うことなく言えていて年長さんになるとこんなにも違うのだと感心したことを覚えている。

・この前きく組さんになったと思っていたが、もうあつという間に卒園直前になってしまい、とても寂しく感じている。今までの1年間で一番短く感じた。コロ

ナ禍もあけて色々な行事も開催されとても楽しい1年だった。

・年長の1年間で動物探検隊が一番印象に残っている。残念ながら病気のために全ての回に参加できなかつたがこれをきっかけに動物好きになつた。友達と楽しそうにいけたのは思い出になつたと思う。

・この3年間で心も身体も大きく成長したと感じている。特に今年度はコロナが5類に移行し休止していた行事が再び行われるようになり、沢山のことを経験させてもらった。特に一泊保育は本人にとってとても良い思い出になつたようだ。年長の活動で特に印象に残っているのは動物園探検隊だ。単なる遠足ではなく目的を持って動物園に行くことで学習にも繋がつており、とても良い活動だと思った。毎週発行されるクラス通信を毎回楽しみにしていた。3年分全てファイリングしてある。先生方は手書きで大変かと思うが今後も是非継続して欲しいなと思う。また、共働きのためくじら組にも大変お世話になつた。年少組の4月1日から利用させてもらって本当に助かった。異年齢の関わりも学ぶことが出来てとても良かった。下の子は保育園だが、いずれアソカ幼稚園に通うことが出来れば良いなど考えている。

・どんぐりクラスからお世話になって、はじめての集団生活は春休み中の預かり保育からスタートした。寂しくて泣く日もあったが、ほとんど下駄箱でいつてらっしゃいしていたと記憶している。ひとりっ子であること学年が上がるにつれて、トラブルも心配していたが特になく、楽しそうな輪の中へ目替わりで入っていき、いっしょにあそんだお友達の話を毎日してくれた。ひらがなが読めるようになってからは、書き慣れないひらがなを一生懸命書いてお友達と手紙交換。年長の今ではシールなどでデコレーションして先生へお手紙を書くほどになった。（いつもお返事をもらいありがたかった）印象に残っているのは、こどもまつりのお店屋さんの際、自分より小さい子に目線を合わせたり、声掛けをしたり、ペースを合わせるなど優しく接している様子が垣間見られ、親が心配するほど、きょうだいの有無にかかわらず、自分なりに学んでいるんだなと感じ安心した。歌や踊りは小さなころから好きで、年少中のころは誰よりも大きな声で歌っていたが（笑）「ほとけのこどもたち」の歌詞が全く聞き取れなかつたのが、年々はつきりと堂々と歌えるようになって、すっかりお姉さんになったなあと実感した。運動会・劇の練習がはじまるとき、練習した踊りや歌・セリフを必ず披露してくれるのだが、自分のパート以外も覚えていて、

“このセリフは○○ちゃん（くん）がいうんだよ”と教えてくれた。月うさの二回目のダンスの練習だったのに、もう覚えて帰ってきていてスポンジのような吸収力すごいなあといつも驚かされる。魔笛のような長い劇でも自分の出番まで待機できる、出番になつたら役目を果たす姿とてもかつこよかつた！たくさん練習したのがビンビンに伝わってきて、月うさが待ち遠しい♪こどもにア

ソカ幼稚園でよかったです、一年間どんなことが思い出に残っているかを聞いてみた。すると、たくさんお友達ができて、いっぱい遊べてうれしいしたのしい！たまに怒っている先生も見かけるけど(笑)先生たちはみんなやさしくて大好き！と言っている。年長になってからの思い出に残っていることは動物探検隊とお泊まり保育。動物探検隊では様々な動物の体のパーツをテーマにした観察や、生き物とのふれあいができたことが学びにつながり、お泊まり保育では、午後からみんなで夜ごはんを食べて、見世物を披露したりサプライズ花火を見たりお風呂に入って寝る。という特別な一日が思い出に残っているようだ。またみんなでお泊り保育したいな～と何も知らずにのんきに言っている(笑)コロナが収束してから怒涛の行事ラッシュで準備がとても大変だったと思う。思い出に残るイベントを企画してもらい有り難かった。子供が行き渋っていた日の理由や、気になることがあった時には正直な気持ちで伝えていたが、いつも受け止めてくれ、お迎えの時に様子を細かく伝えてくれ、“またなにかあればいつでも言ってください”と声をかけてくれた先生方の優しさにいつも救われている。先生に頼られるうれしいようで、自宅に帰ってからよく自慢していた。よいところを褒めて伸ばしてくれるおかげでやる気と自信がアップしていた！アソカ幼稚園に入園できて本当によかったです！年少のうちは土曜日の出勤も多く、先生と普段の園生活ではできないことができる土曜日くじらが子どもはだいすきだった！身寄りが近くにいない私たち家族にとっては何よりも安心・安全に子どもを預けられる場所だったので、頭が上がらない。パワフルで温かみもある先生方、三年間あたたかく見守ってもらい、感謝する。

・先生方、友達のことがとっても大好きで1年間毎日楽しく通えた。友達と楽しく遊び知らないことは教えてもらいながら良い刺激を受けてどんどん色々なことを吸収したと思う。とにかく何をするのも楽しかったようで今まで幼稚園のことで「やりたくない、嫌だ」という言葉は聞いたことはない。命の大切さは祖母を亡くしたことで、ますます強く娘の心に刻まれたようで「月のうさぎ」のセリフ忘れそうになんでも「おばあちゃんが観ていてくれているからだいじょうぶ」と言った言葉にものすごく胸が熱くなり園の保育方針が娘を大きく(心も)成長させてもらったと感じている。園での生活も残りわずかで寂しい気持ちもあるが、小学校に進むことにとてもわくわくしているようだ。沢山の思い出を作ってくれたことに感謝する。

・年長さんになってからの成長ぶりには目を見張るものがあった。今までは大勢の前で話したり発表したり自分が注目されるのがとても苦手だった。しかし、運動会、劇遊び発表会など皆と頑張ったり自分の役のセリフや歌を一生懸命練習し上手にできたりしたこと、先生や友達に応援してもらって、ほめてもらったことで自信がついたようだ。以前はイベント前などは緊張のため「上手

に出来るかな…大丈夫かな」と不安な様子だった娘が今では毎日月のうさぎをしつこいくらいに他の役のセリフ、歌、ダンス色々と説明しながら見せてくれている。自分の役のセリフも「もう覚えた」と不安な様子は一切なく楽しんで練習していて、こんなにも変わるものだと、とても嬉しく思う。この1年はたくさんのイベントもあり一泊保育こどもまつり、おもちつき、どれも本当に楽しかったようで、キラキラの目でたくさん話をしてくれた。マイペースな娘に寄り添い見守ってくれる先生方に感謝する。

・年長に進級してから行事が復活し子どもも沢山の経験や思い出ができたと思う。息子から日々の幼稚園での出来事を聞くと年少・年中の頃の「遊んだ！楽しかった！」等の感想に比べどのように楽しかったのかどんなことを思ったのか友達とのこと先生にお話しされたこと等沢山のことを教えてくれるようになった。動物探検隊では前日に集合時間や持ち物を子どもに伝えるとのことで心配していた。案の定息子が何を持っていけば良いか忘れてしまったことがあったが「もう一度幼稚園に行って先生に聞いて見る」と自分で問題解決することができた。些細な出来事ではあるが今まで親を頼ることがほとんどだった息子の成長だと感じた。運動会・劇遊び発表会ではダンスやセリフを覚えることが増えた。幼稚園でも時間を掛けて練習したと思うが自分に役割が与えられていることを理解し家でも練習をしていた。本番ではきちんと役割を果たさせていたと感じた。お誕生日会ではご先祖様の話・命の話に关心を持っていた。家族とはどんな存在なのか考えるきっかけになったようだった。園生活のなかで先生や友達との関わりにおいてとても成長しているのを感じた。息子なりに大きく成長させてもらった3年間だった。

・実施出来ていなかった行事、こどもまつり お盆の集い お泊まり会 もちつきも出来るようになり、友達と一緒にやり遂げる姿が本当に立派に成長しているなと感じさせてもらった。子どもが毎日楽しそうに通えること園庭で走り回っていること、先生たちのお陰です。また、家では今年色々なことが起きた。先生たちに心配してもらって声を掛けてもらい幼稚園に行くことが私の支えにもなった。5年間通ったが先生たちの子どもや親の名前と顔を覚えるスピードに毎年驚いている。簡単にできることではないと思う。

・幼稚園生活最後の年はコロナの緩和もあり行事が少しずつ出来るようになって新たな経験ができた一年間だった。そして三年間の中で一番娘の成長を感じられる一年だった。沢山の行事の中で劇発表は数回ありその中で成長を感じることが出来た。運動会のオペレッタでは自由な部分もありながら自分の立ち位置をしっかりと覚えて楽しく表現していた。劇遊び発表会では初めて緊張している姿を見て緊張できるほど一生懸命練習して見せる劇をしようという気持ちが成長したのかと感じた。月のうさぎでは毎日の練習に疲れて帰ってきたが家で

全役演じられるほど楽しんでいた。本番はこれまでの劇とは違い自分の役だけでなく全体を見ながらステージに立っていたように思った。セリフも歌も踊りも心が伝わる劇になっていた。行事を通じて成長を実感することができた。日常の保育のなかでも先生方が娘の様子を伝えてくれた。友達とのやりとりや皆の前で発表したこと、自分の考えを伝えられることや出来るようになったことなど、親の知らない成長を日常保育のなかで見守ってくれてそれを一緒に喜んでくれたことが本当に嬉しく共に育ててもらったと思っている。たくさんの経験をさせてもらって考える力や行動力コミュニケーション能力が身に付き少し自身がついたかなと感じている。まだまだ、泣いて登園する日もあるが娘にとっても親にとっても安心できる場所となり感謝している。この一年間は娘の成長を振り返りながら先生方と共有でき自身をつけさせてもらった。

・身体全体が大きくなりよく園での出来事や友達と遊んだ話をする様になった。また先生からの連絡事項を言えるようになってきた。園や先生の教えで親が出来ないことを色々出来る様になっている。

・歌うこと踊ることが好きな子なので劇遊び、月のうさぎは毎日家で楽しみながら練習していた。引っ込み思案な性格なので皆の前では何かをするというのが苦手だと思っていたが一人でセリフも言えていたし、しっかりと踊れていたし、一皮むけたなと思った。親の知らないところでしっかりと成長していく嬉しく思った。

・最後の一年はとても早く感じた。コロナ禍明けで行事が増えるなか「朝準備はしようとしてない」「出発しない」「園についてもなかなか靴を脱いで中に入っていないか」息子を見て心配していたが息子や私の様子を見て園で遊んでいる写真を見てくれたり様子を伝えてくれたりして安心することができたし、心配しそうかな…と思うことが出来た。子どもの成長の様子を見て行事の時の代表さんでは「自信を持ってもらいたいから」とシキミを運ばせてもらったり、劇遊び発表会では挨拶を務めさせてもらって「自分も出来る」と少しずつ思えるようになっていると思う。恥ずかしがり屋で外では控えめなところもあるのでこのような機会を作ってもらい感謝する。11月の劇の後やっとスムーズに靴を脱いで園に入って行くようになった。(準備はまだゆっくりだが)朝登園の際にぐずっているのを見て気付いて、下に下りてきて対応してくれたさや先生、あのときは登園出来ない…と思っていたので感謝する。月のうさぎの公演が終わった今息子が「小学校でも劇あるの」と言ってきた。幼稚園で経験した劇が楽しかったようだ。幼稚園ではふざけたり朝は準備しなかったり通わせる私は大変だったが本人はすっかりアソカの子になっていて劇などで表現することが楽しく感じているようだ。

・特に後半、自信をつけたいみたいで友達に自分の意見を言って一緒に遊べる様になった。「はっぱノート」「畑ノート」などで自分の興味を友達と共有できるようになった。美化委員の任命、好きなことを褒められ、仕事を任せられることで自信をつけたようだ。

・年長になってから園以外の活動(チアリーダー、キリスト教の日曜学校)に行き始めたがどこに行っても恥ずかしがることなく元気な声で挨拶が出来たり誰とでも分け隔てなく話すことが出来たり、感心している。これも普段から幼稚園で劇発表の練習で人の前で話すことに慣れていたり、他人を認め自分も認められているという心理的安全性が守られているからこそ、萎縮することなく話せるのだと思う。この三年間一度も幼稚園に行くことを嫌がることなくいつも幼稚園楽しかったと言うのが何よりの証拠だと思う。先日の月のうさぎの発表では緊張しているとかではなくどこか楽しんでいる様な、上手にダンスや歌を歌っている私を見て、というような自信満々な様子でやり遂げた後には大きな達成感を感じているようだった。最後の月のうさぎの歌では年少の時にみずほ先生を突き飛ばして困ったときのことや、友達とけんかしたこと色々と心配したときのことが蘇ってきたが、元気に大きな声で楽しそうに歌う姿を見て全てが報われたような気がした。三年間手がかかる娘だったが感謝する。

・幼稚園最後の一年今年は行事が沢山復活してとても充実した園生活を過ごさせてもらった。私も役員として子どもと一緒に行事に参加することが出来て楽しかった。息子はお泊まり保育が一番楽しかったと言っている。大好きな友達と一緒に過ごすのは特別な体験だったと思う。どの行事でも先生方の子どもたちを楽しませようという気持ちと工夫にいつも感激だった。息子のキラキラニコニコ笑顔を沢山見られて嬉しかった。幼稚園が大好き過ぎて三年間一度も「行きたくない」日がなく、体調不良でお休みしなきやの日は泣いて怒ったり、しょんぼりしていたりだった。息子にとってこんなに大好きな場所に通わせることが出来て本当に良かった。長男が入園する時は9年も通うことになるとは思いもしなかったが家族みんなで沢山の行事に参加させてもらって楽しい思い出ばかりの9年間を過ごすことが出来た。これから園長先生と朝の挨拶が出来なくなると思うと淋しい。・今年度の子どもの成長、友達の名前や友達が面白かったことを家で話してくれるようになった。先生や大人よりも友達と一緒に遊ぶ方が楽しくなってきた様子。時々こだわりや切り替えの難しさは見られるものの自分で気持ちをコントロールが出来るようになってきている。印象に残ること、朝くじらで登園するとまずゆき先生にお話したことを報告。前日から(週末は土曜日から)「先生に言うんだ~」と張り切っているのでゆき先生が急かすことなくしっかりと聞いて下さって有り難かった。朝一番忙しいであろう時間に長い～長い話に付き合ってくれて本当に感謝している。思い出、今年度は花まつり親子

遠足運動会発表会お泊まり会餅つき等々全ての行事に不安にならずに参加出来た。年少、年中のころガマンや一斉行動を強要せずに本人のペースを尊重して保育してくれたことで幼稚園を嫌いにならず幼稚園大好きっ子になった。

・今年はイベントが多く楽しくてあつという間に過ぎてしまった。娘は初めてのことをする時、すごく不安になる性格でお泊まり保育では「ママ行けないからお泊まり出来ないかも…」とか、劇遊び発表会ではセリフは言えるけどダンスが覚えられないと泣いてしまった。でもお泊まり保育でお迎えに行くと「楽しかったまたお泊まりしたい」。また「劇遊び楽しかった」と行事を終えるごとに自信をつけて逞しくなっていく娘の姿を見ることが出来た。そして、卒園公演月のうさぎでは練習からやる気いっぱい毎日楽しそうに月のうさぎのダンスやセリフを家でも練習していた。本番は幼稚園生とは思えないほど素晴らしいで涙が止まらなかった。娘だけでなく皆がキラキラ輝いていて自信を持って成長した姿を見ることが出来た。短い期間子どもたちの気持ちに寄り添って色々と考えて指導してくれたことに感謝する。娘はさや先生と離れたくない。小学校に行きたくない。先生たちが大好きで今から不安そうだが幼稚園で学んだこと、経験したことを胸に頑張ってくれると思う。3年間で沢山の楽しい思い出と愛情をいっぱいもらい感謝する。兄の時から6年間アソカ幼稚園に通うことが出来て本当に良かった。さみしくなったら遊びに行きたい。

○年中組

・この1年は行事や日常生活を通じて、益々色々なことが出来るようになった。沢山の園児がいるなかクラス担任は勿論担当でない先生方も一人ひとりをきちんと見てくれていると感じている。週に一度の便りや月一度の園だよりを丁寧に作成してくれていて、子どもから聞き出すことの出来ない幼稚園での出来事を知ることが出来て、貴重な情報源として大変有り難く感じている。日々楽しそうに1日の出来事を話す子どもの姿を見ていると先生方のお陰で本当に楽しい1日を過ごすことができているのだなと嬉しく思っている。

・息子は甘えん坊で毎朝「教室までママも一緒に来て～」とせがむのだが、担任の先生が「待ってるよ！！」と声を掛けると、急に幼稚園モードになり、さっさと一人で階段を上る時がある。その姿を見て息子は先生のことが好きなのだと感じる。また、帰宅した後、今日は先生とこんなことしたと友達より先生のことを楽しそうに教えてくれる。最近は友達と遊ぶことの楽しさを覚えたようで、友達のことも報告するようになってきた。この年中の1年で先生と友達との関わりのなかで、楽しいこと嬉しいことくやしいことなど…沢山学び、より成長出来たと思う。また、息子はVoiceが好きなようで家で歌って見せてくれる。アソカ幼稚園で1日1日色んな経験をして息子なりにうめ組の1年も楽しかつ

た。

- ・行事や日頃の活動を通してきく組さんになることを楽しみにしている。仕事が延長してしまって笑顔で「おかえりなさい」と言ってもらい預かり保育は本当に助かっている。
- ・園でのトラブルもその都度伝えてもらえるので助かる。友達と遊ぶのが楽しいようなのでケンカもするだろうが、指導をお願したい。
- ・元々歌やダンスが好きな子だったので念願の「ほがらか森のちようちょさんになって家でもほぼ毎日練習した踊りを見せてくれたり、朝の会で歌う曲を聞かせてくれたりと、園で楽しく過ごしてくれているんだなど感じることが出来た。年長さんでのお泊まり保育がとても楽しみだ。(上の子はちょうどコロナ禍で中止だったので)
- ・「出来たことや」「成長したこと」をこまめに教えてくれる先生方。親の私は「ここが出来ていない」と「出来ないこと」に目を向けがちなのに、先生方の言葉にハッとさせられ反省し、同時に嬉しくなる。
- ・長男はコロナ禍だったので参観が少なく普段の様子を見ることが難しかったが、今年はたくさん子どもの様子が見られて良かった。おもちつきは初めての経験だったがお手伝いに参加して、終了後つきたてのお餅をご相伴にあずかり、美味しかった。親も楽しめた。年中になって我が子の知らない一面を先生方が教えてくれるのも、とても、嬉しく成長を感じることが出来た。
- ・たんぽぽさんの頃と比べて友達とのやりとりの話をよく話してくれるようになった。もちろん良くなかったことと両方あるが、友達が助けてくれたり、先生方の目、気配りがあつたりで大きく傷つく様子はなかった。今年度のアソカこどもまつり、おもちつきはコロナが開けて初めてのイベントだったため子どもと一緒に私達も楽しむことが出来た。
- ・コロナ禍明けで年少の時と比べて行事が増えて毎日とても楽しそうに幼稚園生活を楽しんでいた。次の年長は最後なので思い切り楽しんで欲しいと思う。
- ・今年度はコロナが 5 類感染症になり行事が沢山復活したのでとても充実した1年だった。コロナ禍では親が関わることが出来る行事が少なく幼稚園での我が子の様子が見られなく残念だったが色々なイベントに参加できて子どもの楽しんでいる姿を目で楽しめて良かった。親同士の交流も出来てクラスの子の名前も早く覚えることができた。おもちつきは子どももすごく喜んでいたが、おもちがドロドロにとけてしまったので改善が必要だと感じた。
- ・年中になり子どもも更に力強く活発になった。友達とぶつかり合いもあるようだが先生方にその度、声掛けをしてもらって反省したり許したりする心を身につけてくれていると感じる。大人に対して人見知りをしてしまう息子だが、朝園長先生に「おはようございます」が言えるようになって他の友達がお母さんとバ

イバイするのを寂しがっていると手をつないで一緒に 2 階に上がって行く姿にも成長を感じる。いつも感じるのは質問や通常と形が違うことを聞いてもどの先生も寄り添うとして話しをしてくれるのが伝わる。くじら組でもさやか先生を始めどの先生もあたたかく対応してくれて、安心して預かりをお願いできることに感謝している。

・たんぽぽさんが泣いているときに励ましてあげていたという話を聞いて人の気持ちに寄り添えるようになって成長を感じた。年少の時は一人遊び中心だったようだが仲の良い友達とグループになって遊ぶようになりトラブルもあるが人間関係が一段上がったように感じる。5月に弟が産まれたが命の勉強をしていることもあり自分の命や弟が産まれるということに深く考えているように感じた。命の大切さを知ることで弟にも優しく接してくれていると思う。運動会ではほがらか森では自分の立ち位置や役の出番等をしっかり覚えていて見応えがあった。綱引きでは負けてくやしいという感情が出るなど喜怒哀楽の表現が大きくなったように感じた。劇遊び発表会では長セリフを皆で合わせながら出来ていて年少の時よりも長い劇だったが集中が切れずに真剣に取り組んでいてとても良かった。2 学期終業式でのドレミの歌はベルを自分の番できちんと上手に鳴らすことが出来ていて自信に満ちた顔が忘れられない。沢山の練習をしたんだろうなと思いとても成長を感じた。

・順調過ぎてあっという間の 1 年でした。幼稚園で教わる歌は家でもよく歌っている。ログハウスをとっても楽しみにしているので回数を増やしてもらえたから喜ぶ。

・嫌だった事というのは残酷なもので良い思い出より濃く残っている。この先は楽しい思い出を増やしてあげたい。園での行事が増えたことは親娘共々新たな経験が出来成長に繋がった。園長先生考案の「スーピタ賞」は几帳面な娘は大好きで家では勿論外でも(靴以外でも)実践出来ている。残りの期間も皆さんと共に園生活を楽しくしていきたい。

・色々な事に興味を持ちつつ集中して一つのことに取り組む力が育った。また、先生と問題点に対して声掛けや対処方法を共有できたお陰で周囲に思いやりを持った言動をとることが増えた。

・1 学期と比べ物事を理解する力が大きくなった様に感じる。幼稚園での日々で色々と感じながら過ごしているのだろうと思う。父と家で過ごす時は自由人だが、その分幼稚園では頑張っているのだなとも感じる。年中になってから子どもの成長を感じる場面が多くあり親として喜びを感じている。この 1 年我が子が成長出来たのは先生方周りの子どもたち保護者の皆様のおかげだと思っていて感謝する。

・この 1 年を振り返ると子どもたちは先生方の指導のお陰で大きく成長した。生

活面では自分のことは自分でやるなど少しづつ生活スキルを身につけてきた。そして幼稚園の友達とのコミュニケーションも徐々に上手になってきた。

・出来ることが増え朝の準備や帰ってから弁当を自分で流しに片付けるなど、身の回りのことに対する意識が向くようになってきた。幼稚園で普段自主的に取り組む練習をしているからこそのことだと思う。先生方にはいつも優しく見守ってもらい感謝する。

○年少組

・保育園に通っていた頃とは違い、友達と一緒に遊んだり、何かをしたりする姿にとても成長を感じた。コロナ等で色々と制限されるなか、子どもまつりや劇、餅つきなど様々なイベントを開催してもらいたい子どもにも色々な経験をさせてあげることができ本当に感謝している。

・幼稚園に入園して初めての1年間。去年どんぐり組として過ごした時は短い時間だったので本格的に幼稚園生活が始まってどうなるか、分からなかった4月。始めは担任と全く離れられず、ずっと泣いていたが徐々に友達も増え泣かなくなってきたことに安心した。特にくじら組ではお兄さんお姉さんと遊べることが楽しいようで非常に楽しみな時間になっているようだ。本人は夏のプールが特に楽しかったようだ。屋上にある大きなプールで顔をつけられたこと、沢山の友達とふれ合いながら水を掛け合ったことも印象に残っているようだ。今年はコロナ禍を抜けてきて少しづつ園生活を取り戻せているようだが、今年が年少組で良かったと思う。卒園までのあと2年、たくさんの思い出を作ってほしい。

・運動会は保護者参加の綱引きがあって家族みんなで楽しめた。是非来年度もやってもらいたい。

・早生まれで甘えん坊のため入園時は心配なこともあったが学年の垣根を越えた先生方の対応のおかげで1年間一度も嫌がらずに登園することが出来た。後数ヶ月したら新しい年少さんが入園してきてお兄さんらしい姿が見られるかな?と楽しみにしている。教育内容も色々なことを考慮してもらっているなど感じた。年中さんになったらもう少し身体を動かすプログラムがあったら更に良いなと感じた。

・入園式が昨日のことのように思えるくらいあっという間の1年だった。最初はママと離れることがなかなか出来なかつたけど知らず知らずのうちに下駄箱のところでバイバイが出来るようになった時はさみしいような嬉しいような少し複雑な気持ちがしたことを覚えている。初めての運動会は生憎の雨だったが、皆が頑張って走っている姿や踊っている姿を見て本当に感動した。特に印象に残っている行事は劇遊び発表会だ。自分の娘の晴れ姿はもちろんだが、たんぽぽ組皆が大きな声で歌っている姿にものすごく感動したし、年中、年長さんになった姿を早く観たいなど楽しみになった。今年度は行事の手伝いをする機会が多く

他の園児たちとふれ合うことが出来、皆元気に話しかけてくれたので毎回元気をもらっていた。娘自身もお弁当を完食出来たことの自信やトイレでうんちが一人で出来るようになったことや出来ることが増えた1年間だったのではないかと思う。沢山ほめてあげたいと思う。

・みずほ先生はもちろんアミ先生も良く子どものことを見てくれて感謝している。母子共々アミ先生の言葉に救われたことが多かった。

・夫婦共に働いているため平日の行事が多く少し大変に思うことがあるが、保育参観では普段の様子を近くで観ることが出来とても良い。春の親子遠足の際は途中で疲れてしまったのか「ママ、ママ」と言って離れられなくなってしまったが秋の遠足では最後まで楽しそうに参加出来ており成長を感じた。

・最初は不安そうだった息子も友達と楽しそうに遊んでいる姿を見て、頼もしかった。

・夏休み明けから登園拒否が始まり自転車にも嫌がって乗れず、さてどうやって行こうかと困ったがみずほ先生に相談するとすぐお母さんと一緒に登園して教室でも一緒にいることでやってみようということになった。それがきっかけでとりあえず園に行けるようになった。この時の早い対応とか、次の日に行ってみると他の先生も知っていて、よく見てくれているのだなと思い有り難かった。その後、冬休みまでには普通に行けるようになり暴れたり叫んだり色々大変だったと思うが、あたたかく見守ってくれた先生方にとても感謝している。

・大暴れし大変だった入園式から始まったが、1年を通して見違えるほどの成長を感じている。個々に合わせた関わりを考え、接してくれて安心して預けることが出来た。発表会ではたんぽぽ組の皆が立派に歌ったり踊ったり、セリフを言い挨拶をしている姿を見てとても感動した。これから成長を見ることがより一層楽しみになった。

・入園してからは身支度など自分から進んでやるようになり家族が風邪をひいた時などに冰枕や薬を持ってきてくれたり思いやりの心もたくさん見られるようになりとても頼もしく嬉しい気持ちで改めてこの1年での成長を実感した。何度か幼稚園に行きたくないという日もあったがお迎えの頃には楽しかった！と元気な声が聞けるようになった。たんぽぽ組の先生方は勿論のこと幼稚園全体の先生方の声掛けや心遣いが本当に素晴らしいアソカ幼稚園に入園して良かった…と心が温まる出来事も沢山あった。春には年中組になるがまたどんな1年になるのかとても楽しみだ。

・入園してすぐ泣いてばかりだったが、劇遊び発表会では大勢の前で大きな声で演技をすることが出来るようになり、1年での成長にびっくりした。イベントが多く平日が多いので根岸森林公园など遠い場所の時は下の子を連れて行くのが大変に感じた。運動会や遠足は土日だと有り難い。

- ・トイレでおしっこやうんちが出来るようになった。お弁当で食べられる物が少しずつ増えた。運動会や遠足など子どもと一緒に参加出来て良かった。友達と仲良く遊べるようで良かった。まだ、朝は保育室まで私と一緒に行きたがり泣いてしまう日もあるが帰って来るとその日の出来事など話してくれ「幼稚園楽しかった」と言っている。アミ先生に英語を教えてもらって良かった。これからもお願いしたい。
- ・トイレが一人で出来るようになり(おしっこ)習慣となった。また保育園とは違い「教育」になってくれ集団行動での生活が少しずつ身に付いてきていると思う。友達の名前をしっかり覚え楽しそうに幼稚園生活を送っているように思う。
- ・娘は目の前の遊びや出来事に集中する気質なのかとは思うがこの一年で他者と関わろうとする姿勢が増えた。外の遊び場でも大人数でのイベントに積極的に参加するようになってきた。また「園での様子をあまり話してくれない」と先生に相談したことがあったが、面談にて「何度も聞かれてもういいやとなっているかも知れません。自分から話すまで待ってあげてください」とアドバイスをもらった。その通りで今では自分から色々と話すようになってくれた。(大人でもあれこれ詮索されたくないよなあと反省した。)たんぽぽもくじらも友達も先生も、皆大好きよ。アソカ幼稚園楽しいと言っている。
- ・この一年間を通して登園の時行きたくないと言ったのは1・2回ほどで進んで支度をして登園していると思う。それほど幼稚園を楽しんで過ごしていると感じた。また、この一年を通して出来ことも沢山増えとても成長を感じ先生方に感謝している。最初の頃はよくお弁当を残していることが多かったが、夏休み明けからは毎日完食してくれるようになり先生に褒めてもらえることが嬉しくそれを目標に頑張っていて嬉しく思う。家でも好き嫌いなく食べられるようになった。運動会では恥ずかしくもじもじしている姿が目立っていたが、発表会のジャックと豆の木は歌って踊っている姿がとても可愛く成長を感じた。
- ・歌も沢山覚えて工作も上手になった。集団生活も慣れたように思う。先生からの連絡も自分で伝えてくれるようになった。くじら組ではお兄さんお姉さんとの関わりのなかで学ぶことが出来て良かったと思う。園の行事も楽しく特に子どもまつりやおもちつきが面白かった。また、くじら組で作ってくる工作作品が実用的かつ子どもと飾って楽しめるものが多く(カレンダーやしめ縄)良かった。フェスブックやお便りで園の様子を知ることが出来て嬉しいのだが1日の流れ(例えばVoice)でどんなことをしているのかもっと分かると良いなと思う。入園式の時は正直不安の方が大きかった。どんぐりクラスの時は母子分離も出来ずに泣いて過ごす日の方が圧倒的に多かった。そんな息子が先生方がいつも全力で息子に向き合ってくれたお陰で一年前は想像も出来なかつたくらい成長を見てくれた。コップで飲み物を飲まない。うがいが出来ない。トイレも成功

したことがなかった息子が一つ一つクリアし友達と楽しそうに走り回る姿を見たときは思わず泣きそうになった。息子が大きく成長するきっかけになったのが劇遊び発表会だ。元々歌と踊りが好きだったが起きてから寝るまで一生懸命練習して練習が楽しみで楽しみで泣かずに幼稚園に行けるようになった。本人にとっても友達と舞台に立てたことが大きな自信になっているようだった。これからも息子のペースで成長していくって欲しい。一年間頑固な息子に向き合つてもらい息子の様子を見て毎日対応を考えてもらい先生方には感謝しても仕切れない。息子は先生方のことが大好きで先生に会いたいから幼稚園に行く！と言う。アソカ幼稚園に入園出来て本当によかったです一年間だった。

・娘に今日の出来事を聞いても同じようなことしか答えないでの日々の様子を写真で確認したり毎週配布されるお便りでどんなことをするか分かるので安心出来る。送迎の時担任から娘の話を聞けると一人ひとりちゃんと見てくれているのだなとホッとする。印象に残っていることは劇遊び発表会だ。子どもの成長が感じられて来年度も楽しみだ。遠足の時次女を子守してくれる先生方がいてくれて助かった。

・あっという間の一年だった。先生方のお陰で子どもたちの成長をとても感じられた。トイレトレーニングも早めに成功、たくさんお話しも出来る様になり、友達も沢山出来て娘にとってかけがえのない一年になった。毎日娘が帰ってきて友達の話や遊んだことなどを聞くのが楽しみで仕方ない。4月から年中組になるが色々なことを学んで言って欲しい。

・色々な経験をさせてもらって苦手なことにも挑戦してみようとする姿が見られ成長を感じた。来年はプールに入れるように頑張ると意気込んでいる。

○どんぐり組

・二学年上の兄と比べてだいぶ行事が復活して、とても楽しい1年を過ごすことが出来た。運動会や発表会などの大きな行事も曜日ごとに開催してもらったお陰でゆっくりと我が子を見ることが出来、また、うめ組さんの応援や見学等の配慮をもらったお陰で子どもより楽しく行事に参加することが出来た。本人は当分、母子分離に関して若干不安を感じていたようだが、先生方の配慮や毎回の楽しい企画のお陰で徐々にその不安もなくなったように見受けられる。兄を中心に生活が回っているのでなかなか同じ学年の友達と遊ぶ機会を作つてあげることが出来ていない日々のため、どんぐりさんは同じ学年の友達と関わることが出来る大変貴重な場になっている。どんぐりさんのお陰で、来年度の入園も大変楽しみにしているようだ。

・どんぐりさんでトイレが出来るようになった。早生まれだったのでまだトイレは早いかなと思っていて率先してやろうという気持ちではなかったのだが、おしつこ、うんちが入園までにトイレで出来て良かった。どんぐりがある火曜日は

頑張って1日パンツで過ごしている。今年度から「おやつ」が始まったり今までできなかったイベントが復活したりして更に充実したこと良かつた。

・親子共々に初めての集団生活は不安だらけのスタートだった。特に夏明け友達へ手を出すようになってからは気が気ではなかったが、先生から監視ではなくて見守るんだよと言ってもらい、力が抜けるようになったことを覚えている。その後もひやひやする場面はあったが息子なりに友達と関わろうとする姿や自制する場面も見られ周囲との関わりのなかで学んでいるのだと感じられた。不安感の強い息子にとって大勢が集まるどんぐり発表会は鬼門のようだった。会場内にいられれば儲けものという心持ちでいったが(離脱がありつつも)フグの衣装をまとめて笑顔で伸び伸び活動する姿に成長したなど心から嬉しく思った。今では「今日アソカ幼稚園かな?」とニコニコで聞いてくるほど息子の楽しみな場所になっているようだ。息子や友達が安心して通える環境や何でも相談出来る雰囲気を作ってくれて感謝する。

・運動会では私から離れられずまだ赤ちゃんみたいだったが劇発表会では最初から最後までしっかり歌ってダンスをしていて成長を感じた。毎回帰って来ると「どんぐり楽しかったー先生大好きー」と言っていたので安心して通えた。二人目なのでどんぐり通わなくても良いかな?と思っていたが参加して良かった。

・幼稚園がある日はいつも「幼稚園楽しかった!!」と何をしたのか教えてくれる。特に歌やダンスが好きな様で帰り道や家で歌ってくれる。先生方にはいつも優しく接してもらい感謝している。未だ一進一退であるもののトイレも進み安心している。一番成長したと感じるのは友達との関わり方だ。「今日はお友達と手をつないだよ」と嬉しそうに報告してくれたり一緒に遊べるのが何より楽しいようだ。幼稚園以外で公園で遊ぶ時も自分から積極的に「遊ぼう」と声をかけに行ったり「友達に挨拶してから帰りたい」と言うようになった。これからも友達や先生方と楽しく過ごしてくれたら嬉しい。

・何をするにも「ママと一緒にいい」と離れず話すことも苦手で先行き不安だったが、母子分離も問題なく、先生や友達と楽しそうに走り回り遊ぶ姿を見て驚きと安心を感じた。まだまだ感情表現をあまりしないが帰宅するとどんぐりでの出来事を話「幼稚園行きたい。先生と会いたい。」と楽しんでいる様子だ。

・一からの幼稚園選びで親子共々にものすごく悩み考えた結果アソカ幼稚園に決めた。どんぐりクラスの先生方がとても優しくて親切で安心して通えたことが大きかった。シャイで新しい環境が苦手な息子。それでも少しずつ笑顔も見られるようになり、今では友達との関わりも出てきて彼なりに大きく大きく成長したと感じている。先生方には感謝の気持ちでいっぱいだ。

・私達はコロナの影響もあって市のキッズクラブ等に参加したことがなかった

のでこのプレ幼稚園が初めての集団行動だった。息子はどちらかというと一人遊びの方が得意だったので最初は友達と一緒に遊べるのか先生の話をきちんと聞くことが出来るのか不安なことだらけだった。プレ幼稚園が始まってからも最初は一緒に踊ったりしていて今は送り迎えだけでもへっちゃらな姿に成長を感じている。まだ、今でも少しシャイなところはあるがプレ幼稚園の帰り道に幼稚園で何をしたのか、たくさん話してくれるようになり息子の性格を幼稚園を通して知ることができとても良かったと思っている。また幼稚園でトイレトレーニングをしてくれることで家でもトイレをするきっかけづくりがしやすく感じた。印象に残っているイベントは後期の遠足だ。息子はどんぐり集めが、すごく楽しかったみたいで私もその楽しかった様子が印象的だった。自分の意思を伝えることがまだ上手ではないかもしれないがこの1年間週一回の幼稚園だがとても大きな成長を見ることが出来てとても幸せだった。

・毎回楽しそうにどんぐり組に行っていた。遊びに夢中になりトイレを失敗してばかりだったが先週初めて先生に自らトイレに行くと言っていたと聞いて成長を感じた。運動会や発表会も友達と一緒に走ったり踊ったりと一生懸命やっていて嬉しく思った。この1年間ですごく成長を感じられたのでどんぐりクラスに入れて良かったと思った。

・どんぐり組が始まった頃は大して話さず(話せず)周りの子に関心があるようにも見えず少々不安だったが最近やっと友達と遊べる様になってきた姿を見て成長を感じている。週に一回の時間ではあったが集団のなかで先生の話を聞く、周りを見て行動する。今は何をする時間なのかというような初步的なことを知ってくれたなら良かったと思う。印象に残っている行事は秋のどんぐり遠足、発表会、運動会だ。臆病な性格なので普段公園の滑り台やジャングルジムは怖がって消極的な息子がからだを動かすことは好きな様でどんぐりマン体操やお遊戯は楽しそうにやっているのを見てとても嬉しくなった。

・一年前と比べて友達が出来たり会話が出来るようになったり成長をすごく感じた。毎週幼稚園行くことが楽しくて仕方ないみたいで家でも幼稚園で習ったダンスや凧上げをやってと言われる。先生たちが一人ひとり子どもたちをきちんと見てくれトイレトレーニングも娘にはこうした方がいいと色々教えてくれて私自身も勉強になった。プレに参加するようになった他のママさんと話したり色々な子どもたちを見たりできて本当に良かった。